

第3回山のトイレを考えるフォーラム アンケート結果

2002年2月2日 札幌クリスチャンセンター 参加者数 112名 アンケート回答数 24名

NO	フォーラムの内容について	会の活動について
1	(記入者氏名住所のみ記入)	
2	今回初参加させて戴きました。仕事の関係で昨年4月から自然公園に係ることになりました。 これからも参加して行きたいと考えています。よろしくお願ひいたします。 帰って今日の意見を基に、地元での活動の参考にしたいと思ひます。	地道な活動に敬意を表します。
3	もう少し時間があるとよかったです	自然を愛する人間としてはけいたいトイレを持って行くのがあたりまえ。 入山料金を出すのもあたりまえ。けいたいトイレを持って行くのがいやだったら山に登ることをやめること。 山に登るのに楽しんで登るなんて事はもってのほかである。
4	内地の山トイレ関係のフォーラムにも度々参加させていただいていますが、今回のフォーラムは規模こそ小さいのですが極めて充実。特に現実的(空論が多いのです)で時間があつという間にすぎました。JRの都合で交流会に参加できず残念でした。車中失礼ですが記しました。	行政、特に我々の財産である国有林の管理を委任している林野庁関係の方のご意見を承りたかったのです。特に関係者のひとつのテーブルに就く機会が難しいのでこのような機会にそれができるとうれしいのですが。 (2/3北斗星車中にて)
5	個人のモラルの問題?	
6	今回初めて参加しました。トイレ問題はもちろん登山者のマナー、山の環境問題に至るまで、様々な要素がからみ合う難しい問題だと感じました。 改善策として私が考えることは入山時の有料化です。 トイレはもちろんゴミの処理等、人間が山に登るだけで環境破壊につながってしまうと思うからです。ボランティアだけでは山は守れないと思ひます。	すばらしい活動だと思います。苦勞も多いと思ひますが、頑張ってください。私もマスコミという立場から応援できることがあれば、かげながら協力させていただきます。
7	登山を知らない私でもとても楽しく聞けたので良かったです。フォーラムを一部の参加者だけでなく、もっと広めたいですね。広報誌で紹介したい	国民にもっと啓蒙を広める為には(キャリアやノーキャリアなど)やはりメディアにのせてわかりやすい説明でお知らせするのがいいですね。(TV番組やTVCMなど)
8	今回は調査・現状の報告に重きが置かれ、山のトイレをどうすべきか、という部分はあまり語られなかったように感じる。 携帯トイレの普及のための様々な条件について情報提供が不足この会に参加しない意識の人の意識をどうくみ上げるかを考えないと、この会の成果には限界があるように感じた。	これ(注;最後の意見)を考えて頑張ってください。
9	携帯トイレの普及、登山口のトイレ設置など課題は明らかになっていると思われる。 今後は各課題の解決方法や取組み事例を中心に行ってほしい。	道内各地でフォーラムを行ってほしい。 会議場にはテーブルがほしいです。

10	<p>第3回目にはじめて参加しました。詳細な調査等は本当に参考になりました。これからの問題と思われます。今後環境もそこなわれず、自然に触れるために山に入る人々（これから観光気分で登る人）も増加してゆくと思われます。 観光産業面からも職業としてトイレについては管理を含めて考えてゆくべきではないかと考えます。とに角ゴク로우サマ!! ガンバッテ下さい。</p>	<p>近年、道路整備され（奥地まで入れる）また、ガイドを職業とする人々によって安心して（かなりレベルの高い区域）登れるようになってきている。 現状はますます拡大されてゆくと思う。トイレ整備水準のレベル3についてはよくわかる。（私は余り人が多くいる場所へは行かないようさせているのですが） しかし今回のフォーラムは環境汚染を憂いてのことだと思います。とするとレベル1のところへはバイオトイレの設置（管理を含めて）登山者（特に初めての人）へのマナー指導の徹底。携帯トイレの普及は更に更に研究する必要があると思われる（普及のために）</p>
11	<p>携帯トイレの現物（見たことのある人は少ないと思う）を展示する等もっと現実に即した啓蒙も必要であると思う</p>	<p>大変な仕事ですが、誰かがではなく、みんなで作らなければならない事なので、できるだけ活動に参加したいと思います。知らない人、無関心の人が多いので、PRを声高に、視覚も派手に。</p>
12	<p>現状と、望ましい姿のギャップをどのようにうめるかが重要です。昨年富士山に登って見ましたが、悲惨という言葉がぴったりでした。発言の中で、「ボクは他の人がいかないところにしか行かないからそのまましている」という事務局の方がいましたが、それはおかしいと思います。やはり、人の多い少ないに関係なくトイレは持ち帰るなり、トイレの設置なりの統一的な意識的な行動をとるべきではないかと考えます。 今後土壌のふん便の分解能力の検討をされては如何でしょうか。</p>	
13	<p>今回「自然公園は本来どうあるべきか」という本質的議論の必要性が出された事は、大変重要であると思います。本質論のさらなる進展と、現実論（トイレをどうするか？）とえお、並行してやったらいいと思います。</p>	<p>皆様のバイタリティーに敬意を表します。色々な山関係の団体と協力し合って大きな流れを作ってゆきたいものです。</p>
14	<p>利用する人の費用負担という愛甲さんのまとめの言葉に賛同します。</p>	<p>山のトイレにもいろいろな方法があるので、デメリット&メリットを整理して山のそれぞれの状況に応じてこれが「適」と提案できるようにしていっていいと思います</p>
15	<p>回を重ねるに従って、極めて内容が充実してきており、山岳会としても、日常的にトイレ問題を討議し、今後の認識を深めていくようにしたいと強く感じております。</p>	<p>山岳の自然や環境を守るという基本姿勢に対し、敬意を表します。特に人間の生理としてのトイレを避けることなく真正面から取り組んでいる活動は、北海道では今始まったばかりであり、行政も動き出しているの息の長い、活発な活動を期待します。</p>

16	<p>道外の状況の報告にギモンあり。いくつかの資料・文献は一般市民は見られないものであり、それを見よというのはおかしい。「マナー」「ハード」「ソフト」の他に当然立入人数制限もあるはずだが全く言及がない。ROSなる用語が資料集に出ているが、問題となっている山域では当然「制限」も対象としてとり入れるべき。メーカー名は明記すべき。1つだけ明記してあるが。</p> <p>隠す必要は何もないはず。NHKじゃるまいし。</p> <p>平取山岳会長氏へ</p> <p>七つ沼等へ誘致する記事等にはその都度批判しないとあらたまらない。やっていただいてますよね。</p> <p>歩道/トイレのレベルについて</p> <p>”大雪” ”日高” はどうかなんていう雑なギロンはやめた方がいい。一般登山道は2だろうし、それ以外は3だろうし、登山口までは1～2だろう。現状はどうか/将来的にはどうかとこまかに考えるべき。(ルート、天候、時期を考える)</p> <p>山岳ガイド3社も社名を明記すべき。これも隠す理由はない。あるとしたら代表がガイドだからか。</p>	<p>百名山(日本/続日本/北海道など各都道府県)なるものへ、おかしい - 金もうけのためにこれを食いものにして新聞社、出版社、旅行会社、ガイド - という問題提起すべき。</p> <p>今回のフォーラムにも上記から出席者がいないのはおかしい。はたして出席を求めたのか。求めたのにかわらず来てない、断られたのか。</p> <p>問題を起こしている、放っておいている、あおっている人たちこそこういう場に来るべきだから。</p>
17		<p>会の日頃の活動に敬意を表します。</p> <p>私も日頃、登山をする機会がありますので、自ら実践することは勿論ですが、同行する人達にも積極的にPRしたいと思います。</p>
18	<p>自然とその原始性を保つこと、その原始性を楽しむことは相反する事である。しかし自然に親しむ事を人間の生きる条件と考える時、生きている人間が自然に入る時当然のこととしてトイレの問題は起こる(ゴミ、踏みつけ等は除く)ので、これに対処するには二つの方法があると思う。</p> <p>登る人が努力すること</p> <p>その山を管理している行政が必要な手立てを取ること</p> <p>このバランスを取った方向性を追求すべきだ</p>	<p>山のトイレを考える会が、自主的に考え行動していることは、自然を大切にしようとする意味で大変貴重なことである。ただ、上記も、もっと積極的にその管理責任を取るべきで、現在は、残念ながら、まだ民間に遅れを取っている。道路やロープウェイをつくって、トイレを作らないのは片手落ちと思うが。山岳の自然は、トイレの問題だけでなく、踏みつけや、高山植物の盗掘など、大きな意味で酸性雨、地球温暖化など包括的な問題もある。</p> <p>トイレを土台にここまで討論できればいいね。</p>
19	<p>考える会の方々本当にごころう様です。山はきれいに越した事はありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 色々山の会とかクラブに強く協力するよう申し付ける。 2. 本州の山小屋は有料が多いので、はっきり有料方向にしてもよいと思う。 3. 「ケイタイトイレ」がなくても工夫すると下山して自分の「物」は自分で処理出来ます。ケイケンしています(食べない、出さない、遭難しない)。 <p>昔の山の歩き方で勉強して良かったと思います。</p>
20	<p>設置はかんたん、管理がむづかしい。使用する側からは南沼には期間中(夏季)だけでもおいてほしい。</p>	<p>トムラウシの登山口2ヶ所にトイレが設置されることを聞きました。</p> <p>考える会の活動、実際の行動調査、聞き取り、配布等の行動が評価されたものと思います。</p>

21	<p>多くのみなさんが種々な場所で行動されていることを知りました。また全国でトイレの設置の具体的な成果もあり、その運動がすすみつつあることも知りました。</p> <p>山を愛する者の一人として大きな関心をもっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛甲氏のレベルの提案は、自然を愛する山家のロマンの方向に行ってしまった。 ・本来はトイレをどう処理すれば、ローインパクトの山になるかではないでしょうか。 	<p>携帯トイレの普及の立場から意見（要望）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各登山口に回収ボックスを設置することなくして普及は難しい。 ・簡易トイレ設置の前に、回収ボックスの設置とその後回収の処理業者（市町村、行政の力も含めて）等のアフターの完備を考える必要あり ・山だけの一部の問題とせず、街の中でも必要なシチュエーションの方々もいることを考えると、携帯トイレは生活の一部にするくらいの発想が必要 ・環境の立場から将来的にはトイレ（うんこ）そのものを商業的リサイクルができる資源と考える方向にまですすめるべきでしょう ・携帯トイレを安価でコンビニでも入手できる時代へ ・児童の若年者でも使用できる選択の多い携帯トイレの開発も必要
22	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加でしたが、有意義な会とっております。 ・3回目ですがこれからが始まりということではないですか。 ・私は昨年から札幌の自然歩道を歩いておりますが坂口さんの話の様に市内は整っているようです。しかし山のことでTVで本州の山のトイレについて放映していましたが、繰り返し訴える必要があると思う。 ・トイレは食事と同類と考える必要があり、山に入る人は出来るだけ参加するようメールを送付してはどうか。寄付を募るのも一つの方法では。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保護の考えからなお一層アピールしなければならないと思う。 ・行政だけではあまりあてにならない。（国や道のこと） ・メディア特にテレビ局にアピールすることや山岳会や旅行会社には義務付けする（携帯トイレなど）必要があると思う。守れなければ登山者のモラルに欠けるので禁止すべきである。
23	<p>各地の状況がリアルな報告され、山の危機的状況を知りました。</p> <p>携帯トイレの回収がきちんと行われないと、さらにゴミが増える可能性大ということを改めて考えさせられました。</p>	
24	<p>初めての参加です（登別から）。大変難しい問題ですが根気強く関わっていければと思います。</p>	